

文政末六月に月の月成の上列ハ入るに都めて酒の月列  
若入許小を年いには六と中の月かて六月の節期日之  
石山城小としてゐる

水の事能後日方粒ハ浪花流川の氷粒ハ因所案并  
の水粒粒ハ浪花系原きの書小年ハ

風の目方の事ハ近年流りの風粒と目方ハ毎風袋ハ  
風粒ふん掛れハ列粒小年ハや

真似為ハ魚ハ事ハ

反達の内小物念を致人  
密事と端小流うハ致人

酒後に口さうぬ人

女房の烟と信ハさぬ人

右の事小度く人ハの世の事小通達ハたうハ力ハのハ人

月光の影小扉を海事ハ

口小信きて人を飼ふ事ハ

人の家乃鳴法少ハうハるハ事ハ

人の好悪をさうく流乃後小ハとハ女事ハ

備りきお物込ハぬ事ハ

英一襟時鳥の瀝